

内子町サイバーセキュリティを確保するための
基本方針

目次

1. 目的
2. 定義
 - (1) ネットワーク
 - (2) 情報システム
 - (3) サーバ等
 - (4) 端末
 - (5) 電子情報
 - (6) 記録媒体
 - (7) アクセス
 - (8) 情報資産
 - (9) 情報セキュリティ
 - (10) 情報セキュリティポリシー
 - (11) 機密性
 - (12) 完全性
 - (13) 可用性
 - (14) マイナンバー利用事務系（個人番号利用事務系）
 - (15) LGWAN 接続系
 - (16) インターネット接続系
 - (17) 通信経路の分割
 - (18) 無害化通信
3. 対象とする脅威
4. 適用範囲
 - (1) 行政機関の範囲
 - (2) 情報資産の範囲
5. 職員等の遵守義務
6. 情報セキュリティ対策
 - (1) 組織体制
 - (2) 情報資産の分類と管理
 - (3) 情報システム全体の強靱性の向上
 - (4) 物理的セキュリティ
 - (5) 人的セキュリティ
 - (6) 技術的セキュリティ
 - (7) 運用
 - (8) 外部サービスの利用
7. 情報セキュリティ監査及び自己点検の実施
8. 情報セキュリティポリシーの見直し
9. 情報セキュリティ対策基準の策定
10. 情報セキュリティ実施手順の策定

情報セキュリティ基本方針

1. 目的

本基本方針は、内子町が保有する情報資産の機密性、完全性及び可用性を維持するため、内子町が実施する情報セキュリティ対策に関する基本的な事項を定めることにより、町民の財産、プライバシー等を守るとともに、情報システムを活用した住民サービスの向上と行政事務の効率化を図ることを目的とする。

2. 定義

(1) ネットワーク

コンピュータ等を相互に接続するための通信網、その構成機器（ハードウェア及びソフトウェア）をいう。

(2) 情報システム

コンピュータ、ネットワーク及び電磁的記録媒体で構成され、情報処理を行う仕組みをいう。

(3) サーバ等

ネットワーク上で情報を処理し、接続されたパソコン等の端末機に情報を提供するコンピュータ（ホストコンピュータ等を含む。）をいう。

(4) 端末

ネットワークを通じてサーバに接続されたパソコン等の端末機をいう。

(5) 電子情報

情報システム並びに情報システムの開発、保守及び運用に係る全ての電子情報（電子的、磁氣的、その他人の知覚によって認識することができない方式で作られた記録をいい、プログラム等のソフトウェアを含む。）をいう。

(6) 記録媒体

電子情報を保管する記録装置のうち、取りはずして使用することが可能な外部記憶装置（USBメモリ、外付けHDD、SDカード等）、光ディスク（CD、DVD等）、光磁気ディスク（MO等）、磁気ディスク（FD等）、磁気テープその他これらに類するものをいう。

(7) アクセス

電子情報を保管する記録装置に対して、データの書き込み、読み出しを行うこと。

(8) 情報資産

ネットワーク及び情報システムで取り扱う電子情報（紙等の有体物に出力された情報も含む。）をいう。

(9) 情報セキュリティ

情報資産の機密性、完全性及び可用性を維持することをいう。

(10) 情報セキュリティポリシー

本基本方針及び情報セキュリティ対策基準をいう。

(11) 機密性

情報にアクセスすることを認められた者だけが、情報にアクセスできる状態を確保することをいう。

(12) 完全性

情報が破壊、改ざん又は消去されていない状態を確保することをいう。

(13) 可用性

情報にアクセスすることを認められた者が、必要なときに中断されることなく、情報にアクセスできる状態を確保することをいう。

(14) マイナンバー利用事務系（個人番号利用事務系）

個人番号利用事務（社会保障、地方税若しくは防災に関する事務）又は戸籍事務等に関する情報システム及びデータをいう。

(15) LGWAN 接続系

LGWAN に接続された情報システム及びその情報システムで取り扱うデータをいう。（マイナンバー利用事務系を除く。）

(16) インターネット接続系

インターネットメール、ホームページ管理システム等に関わるインターネットに接続された情報システム及びその情報システムで取り扱うデータをいう。

(17) 通信経路の分割

LGWAN 接続系とインターネット接続系の両環境間の通信環境を分離した上で、安全が確保された通信だけを許可できるようにすることをいう。

(18) 無害化通信

インターネットメール本文のテキスト化や端末への画面転送等により、コンピュータウイルス等の不正プログラムの付着が無い等、安全が確保された通信をいう。

3. 対象とする脅威

情報資産に対する脅威として、以下の脅威を想定し、情報セキュリティ対策を実施する。

(1) 不正アクセス、ウイルス攻撃、サービス不能攻撃等のサイバー攻撃や部外者の侵入等の意図的な要因による情報資産の漏えい・破壊・改ざん・消去、重要情報の詐取、内部不正等

(2) 情報資産の無断持ち出し、無許可ソフトウェアの使用等の規定違反、設計・開発の不備、プログラム上の欠陥、操作・設定ミス、メンテナンス不備、内部・外部監査機能の不備、委託管理の不備、マネジメントの欠陥、機器故障等の非意図的的要因による情報資産の漏えい・破壊・消去等

(3) 地震、落雷、火災等の災害によるサービス及び業務の停止等

(4) 大規模・広範囲にわたる疾病による要員不足に伴うシステム運用の機能不全等

(5) 電力供給の途絶、通信の途絶、水道供給の途絶等のインフラの障害からの波及等

4. 適用範囲

(1) 行政機関の範囲

本基本方針が適用される実施機関は、町長、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会、固定資産評価審査委員会及び議会とする。

(2) 情報資産の範囲

本基本方針が対象とする情報資産は、次のとおりとする。

①ネットワーク及び情報システム並びにこれらに関する設備及び電磁的記録媒体

- ②ネットワーク及び情報システムで取り扱う情報（これらを印刷した文書を含む。）
- ③情報システムの仕様書及びネットワーク図等のシステム関連文書

5. 職員等の遵守義務

職員、臨時・非常勤職員等（以下「職員等」という。）は、情報セキュリティの重要性について共通の認識を持ち、業務の遂行に当たって情報セキュリティポリシー及び情報セキュリティ実施手順を遵守しなければならない。

6. 情報セキュリティ対策

上記3の脅威から情報資産を保護するために、以下の情報セキュリティ対策を講じる。

（1）組織体制

内子町の情報資産について、情報セキュリティ対策を推進する全庁的な組織体制を確立する。

（2）情報資産の分類と管理

内子町の保有する情報資産を機密性、完全性及び可用性に応じて分類し、当該分類に基づき情報セキュリティ対策を実施する。

（3）情報システム全体の強靱性の向上

情報セキュリティの強化を目的とし、業務の効率性・利便性の観点を踏まえ、情報システム全体に対し、次の三段階の対策を講じる。

- ①マイナンバー利用事務系においては、原則として、他の領域との通信をできないようにした上で、端末からの情報持ち出し不可設定や端末への多要素認証の導入等により、住民情報の流出を防ぐ。
- ②LGWAN 接続系においては、LGWAN と接続する業務用システムと、インターネット接続系の情報システムとの通信経路を分割する。なお、両システム間で通信する場合には、無害化通信を実施する。
- ③インターネット接続系においては、不正通信の監視機能の強化等の高度な情報セキュリティ対策を実施する。高度な情報セキュリティ対策として、愛媛県及び県内各市町のインターネットとの通信を集約した上で、自治体情報セキュリティクラウドの導入等を実施する。

（4）物理的セキュリティ

サーバ等、電算室等、通信回線等及び職員等のパソコン等の管理について、物理的な対策を講じる。

（5）人的セキュリティ

情報セキュリティに関し、職員等が遵守すべき事項を定めるとともに、十分な教育及び啓発を行う等の人的な対策を講じる。

（6）技術的セキュリティ

コンピュータ等の管理、アクセス制御、不正プログラム対策、不正アクセス対策等の技術的対策を講じる。

（7）運用

情報システムの監視、情報セキュリティポリシーの遵守状況の確認、業務委託を行う際の

セキュリティ確保等、情報セキュリティポリシーの運用面の対策を講じるものとする。また、情報資産に対するセキュリティ侵害が発生した場合等に迅速かつ適切に対応するため、緊急時対応計画を策定する。

(8) 業務委託と外部サービス（クラウドサービス）の利用

業務委託を行う場合には、委託事業者を選定し、情報セキュリティ要件を明記した契約を締結し、委託事業者において必要なセキュリティ対策が確保されていることを確認し、必要に応じて契約に基づき措置を講じる。

外部サービス（クラウドサービス）を利用する場合には、利用に係る規定を整備し対策を講じる。

ソーシャルメディアサービスを利用する場合には、ソーシャルメディアサービスの運用手順を定め、ソーシャルメディアサービスで発信できる情報を規定し、利用するソーシャルメディアサービスごとの責任者を定める。

(9) 評価・見直し

情報セキュリティポリシーの遵守状況を検証するため、定期的又は必要に応じて情報セキュリティ監査及び自己点検を実施し、運用改善を行い、情報セキュリティの向上を図る。情報セキュリティポリシーの見直しが必要な場合は、適宜情報セキュリティポリシーの見直しを行う。

7. 情報セキュリティ監査及び自己点検の実施

情報セキュリティポリシーの遵守状況を検証するため、定期的又は必要に応じて情報セキュリティ監査及び自己点検を実施する。

8. 情報セキュリティポリシーの見直し

情報セキュリティ監査及び自己点検の結果、情報セキュリティポリシーの見直しが必要となった場合及び情報セキュリティに関する状況の変化に対応するため新たに対策が必要となった場合には、保有する情報及び利用する情報システムに係る脅威の発生の可能性及び発生時の損失等を分析し、リスクを検討したうえで、情報セキュリティポリシーを見直す。

9. 情報セキュリティ対策基準の策定

上記6、7及び8に規定する対策等を実施するために、具体的な遵守事項及び判断基準等を定める情報セキュリティ対策基準を策定する。なお、情報セキュリティ対策基準は、公にすることにより内子町の行政運営に重大な支障を及ぼすおそれがあることから非公開とする。

10. 情報セキュリティ実施手順の策定

情報セキュリティ対策基準に基づき、情報セキュリティ対策を実施するための具体的な手順を定めた情報セキュリティ実施手順を策定するものとする。なお、情報セキュリティ実施手順は、公にすることにより内子町の行政運営に重大な支障を及ぼすおそれがあることから非公開とする。